

授業改善等に関する報告書（2025 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2025（前期）生活文化学科 幼児保育専攻〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎演習 b（科学的思考法とコミュニケーション）	渡辺 敏	授業評価ありがとうございます。頂いた評価を来年度の授業に活かしたいと思います。
保育原理	野尻 美枝	大学に入学して、初めて受講する講義科目であったことから、大学の講義スタイルに慣れることからスタートだったと思います。今後臨むことになる実習では、聞き取る力、瞬時に考察したり、記憶する力、書き取る力等が要求されます。これに加えて、専門分野を探究する体験も求めました。みなさんは、これらに対して十分誠実に取り組んでいらしたと思います。
子どもの保健	佐々木 溪円	難しい内容が多かったと思いますが、皆さんとても一生懸命勉強されていました。皆さんは、現場で必要な基礎知識を手に入れましたので、今後の授業や学外実習で知識を応用できるように引き続き学習を進めていきましょう。
保育・教育指導の基礎 a	井口 眞美 渡辺 敏 大澤 朋子	幼稚園、小学校の見学等、保育・教育現場の実際が少しずつ見えてきたことと思います。 後期は、児童館、保育所の見学実習もあります。保育・教育職のやりがい、大変さを知ると共に、他の講義と現場の学びを関連させながら学修を進めていきましょう。
保育・教育指導の実際 a	野尻 美枝 井口 眞美 大澤 朋子	少人数のグループワークやプレゼンテーションを行うことにより、個人の学びを俯瞰して捉える機会に恵まれた履修生の皆さんだったと思います。ボランティア活動については、学科の特長でもありますので、そこから学べる貴重な事柄に目を向けられるよう今後、意義について説明を丁寧に重ねたいと思います。
保育・教育指導の実際 a	井上 陽童	「おおむね授業に満足」されている評価だったので、安心しました。「配布資料や説明が分かりやすかったので、授業内容を理解しやすかった」というコメントがあり、大変嬉しく思いました。今後も、学生さんにとって学びのある授業づくりを心掛けていきます。
保育者論	田中 正浩	アンケート結果を受け止め、受講生が熱心に取り組み、自身の成長を実感できるような授業にしていきたい。授業方法においては、受講生の理解を深めるためにスライド資料や説明の仕方へのより一層の工夫・改善に努めていきたい。
子ども家庭支援の心理学	大澤 朋子 八木 孝憲	半年間の受講おつかれさまでした。途中に初めての保育実習があり、オンデマンド授業の回もありで疲れたことと思います。よくがんばりました。
社会的養護 a	大澤 朋子	半年間の受講おつかれさまでした。今年度初めて論述問題の事前公開をしましたが、みなさん大変よく準備してきていて、よく理解されていました。次年度は演習科目がありますので、学びを深めてください。
子ども家庭支援論	大澤 朋子	半年間の履修おつかれさまでした。保育の現場に出ると、1年目から保護者支援も業務のうちです。大学で学んだことを思い出しつつ、あとはOJTでがんばってください！
保育活動の実際 b	西 かおり	今回のアンケートでは、「子どもの視点になれた」「子どもの気持ちに近づけた」といった感想を寄せてくれました。実際に素材に触れて手を動かす中で、感じたり考えたりする経験ができたことが、ご自身の気づきにつながったように思います。子どもの表現に寄り添う姿勢を体験的に学べたことは大きな成果だと感じています。また、「新しい素材や題材」など初めて触れるものや、「自由な制作」といった前向きな声が多く、授業全体への満足度は高かったと受け止めています。その一方で、制作の時間が足りないといった要望もあり、次年度以降の改善点として大切にしたいと思います。授業の中では、制作だけでなく作品を紹介し合う場を設けたことで、お互いの工夫に学び合う姿も見られました。今後は時間配分を工夫しつつ、子どもの発達段階による表現の広がりや、実際の保育現場での展開の仕方をさらに紹介していければと考えています。
教職論	田中 正浩	アンケート結果を受け止め、受講生が意欲をもって取り組み、自身の成長を実感できるような授業にしていきたい。授業方法においては、双方向的になるよう、より一層の工夫・改善を行い、受講生の理解を深めるように努めていきたい。
教育思想史	田中 正浩	アンケートへの回答はなく、アンケート結果をもとにした分析、評価はできない。若干の所感を述べるとすれば、受講者4年生2名は課題にしっかりと取り組み、学修内容への理解を深めていたように思われる。
社会	田中 正浩	アンケート結果を受け止め、受講生が熱心に取り組み、自身の成長を実感できるような授業にしていきたい。具体的には、スライド資料や説明の仕方への一層の工夫・改善に努めるとともに、問いを発信しながら、考え、議論することを授業の中心に据えるようにしたい。

〔2025（前期）生活文化学科 幼児保育専攻〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活	渡辺 敏	授業評価ありがとうございます。頂いた評価を来年度の授業に活かしたいと思います。
図画工作	井口 眞美	影絵の発表は、私自身も印象に残る授業となりました。 仲間と協力し話し合って、よりよい表現をすることの大切さ、楽しさを感じたことと思います。 子どもが主体的に学べる教科学習が展開できるよう、これからも学修に励んでください。
体育	島崎 あかね	幼小コースのみの授業なので、人数が少ない中で実技を中心として行う難しさはありますが、「体育」「保健」の授業がどのような学年推移で展開されているのかを体験的に学んでもらうことができたと思います。水泳の授業では、日野市立第七小学校の授業（4年生の着衣泳や1年生の水慣れ）に参加させてもらうことができたのは、とても良い経験になったと思います。 3年次に教育実習に行くこととなりますが、実際に子どもたちと身体を動かしながら楽しく活動できるように、後期の「初等教科指導法」でさらに学びを深めていきましょう。
カリキュラム論	井上 陽童	おおむね「授業に満足」されている評価だったので、安心しました。その一方で、「模擬授業の日程決めはもっと早くして、余裕をもって指導案作成に取り組みたい」というコメントがあり、大変申し訳なく思いました。今後は、学生さんが余裕をもった模擬授業の準備ができるように、14回の講義の進め方を工夫していきます。
保育カリキュラム論	田中 正浩	アンケート結果を受け止め、受講生にとって自身の成長を実感でき、満足度の高い授業をめざしていきたい。とくに、授業方法及び使用教材（スライド資料等）において、受講生の目線でより一層の工夫・改善が必要であると感じている。
児童教育法	井上 陽童 井口 眞美 渡辺 敏	「おおむね授業に満足」されている評価だったので、安心しました。今後も、学生さんにとって学びのある授業づくりを心掛けていきます。（井上）
初等教科指導法（国語）	井上 陽童	「おおむね授業に満足」されている評価だったので、安心しました。「授業終わりの振り返り記入で書いた質問や学びたい内容を次の授業で答えてくれたり、活動に取り入れてくれたりと学生の意見を取り入れながらの授業が良かった」というコメントがあり、大変嬉しく思いました。今後も、学修の振り返りを大切にして、学生さんにとって学びのある授業づくりを心掛けていきます。
初等教科指導法（算数）	渡辺 敏	授業評価ありがとうございます。頂いた評価を来年度の授業に活かしたいと思います。
子どもと健康	内田 裕子	アンケートへの回答ありがとうございました。 皆さんが、熱心に取り組み学びが深まった様子が伺えとても良かったです。私の説明がわかりにく部分があったこと、申し訳ありませんでした。学生の皆さんがわかりやすい授業を目指します。
子どもと環境	井口 眞美	ピタゴラスイッチ、乳児のおもちゃづくり等、実際の保育現場でも活用できる物的環境や、SDGsやドキュメンテーション等、現代的課題、保育の現在に即した学修に触れるように心がけました。 これからの幼稚園実習でも活用できることがたくさんあると思います。 実習に向けて準備をしていきましょう。
子どもと表現	小坂 光	前期の授業お疲れ様でした。 さまざまな素材に触れたり、身近なものに気づくことで、たくさんの新しい発見があったと思います。今回学んだことをぜひ日常生活では拡大しながら、自分なりの学びを深めていきましょう。 ピアノも継続的に練習しておきましょう。 1回だけでしたが、「身体を使った表現」について体験的に理解してもらえたのではないかと思います。子どもたちが自分の身体を使ってさまざまな感情を表現したり、身体活動によって得られた変化をどのように感じ取り表現しているかを読み取ることができるようにしていきましょう。（島崎）
保育実習指導 1	松井 利恵	通年科目のため後期にコメントします。
保育実習指導 1	大澤 朋子 野尻 美枝	通年科目のため後期にコメントしたいと思います。